

第84回

語

劇 祭

Classic ~ 百花繚乱の時代 ~

2022

12.2 (Fri) · 3 (Sat)
10:00 開演

主 催：拓殖大学大学祭実行委員会

開催場所：拓殖大学八王子国際キャンパス

拓殖大学 大学祭実行委員会HP：<https://daigakusaitakushoku.wixsite.com/toppage>



拓殖大学語劇祭

主 旨

拓殖大学は1900年創立以来、海外に目を向け、日々語劇の向上・異文化への理解を深めるために努力している。語劇祭は、この日々の努力の成果を発揮する場であると共に、その国の言葉・文化・習慣を学生及び一般の人達にも広く学び親しんでいただくことを目的とする。

沿 革

本学は建学以来、今日まで「国際理解・国際交流・国際協力・国際平和のための教育」を標榜してきました。特に外国語教育については、開学時より台湾語・清語（中国語）・英語を設置、その後ロシア語・朝鮮語・スペイン語・モンゴル語・オランダ語・マレー語等が加えられ、語学教育の充実に努めてきました。

現在、本学では14ヶ国語に及ぶ外国語を置いて、多面的な語学教育を発展しています。

本学における外国語教育の中であって、「語劇祭」は長い歴史と輝かしい実績を有している重要な大学行事の一つです。

明治35年（1902）5月、麗澤会第1回大会が開催されました。当時、本学では学生の語劇練習に資する為、麗澤会内に語劇部を設け、各語学の権威ある学者や本国人を招いて語劇指導や講演会を行い、その成果をこの大会に於いて発表したのが語劇祭の前身です。翌明治36年には神田の青年会館に於いて役2000人の観衆を集め徐々に学内外からも注目されるようになりました。

大正11年（1922）年2月、新宿の牛込会館に於いて第1回語劇祭が開催され、独立した行事としてスタートしました。

昭和5年（1930）、本学は創立30周年を迎え、祝賀行事の一貫として11月2日、青山の青年会館に於いて英語・南洋語（オランダ語・マレー語）・支那語（中国語）・ロシア語・ドイツ語の各国語による第3回語劇祭が行われ、その後も大学行事の大きな柱として、学外の著名な会館等で語劇祭が、開催されました。

昭和32年（1957）6月、茗荷谷校舎（現・文京キャンパス）に茗荷谷ホール（H館内）が完成し、これを契機に語劇祭を学内に於いて開催することができるようになり、参加語学も多彩になってきました。更に他大学の団体も参加するなど、語劇祭は新しい方向へ広がりを見せてきています。

昭和52年（1977）八王子校舎（現・八王子国際キャンパス）の開校と共に、より語学力の充実を図る為、英米語・中国語・スペイン語の3学科の構成による外国語学部が設置されました。

平成3年（1991）、創立90周年記念行事の一貫として八王子国際キャンパスに麗澤会館が完成し、第54回より今回まで麗澤会館90年記念ホールに於いて開催しております。

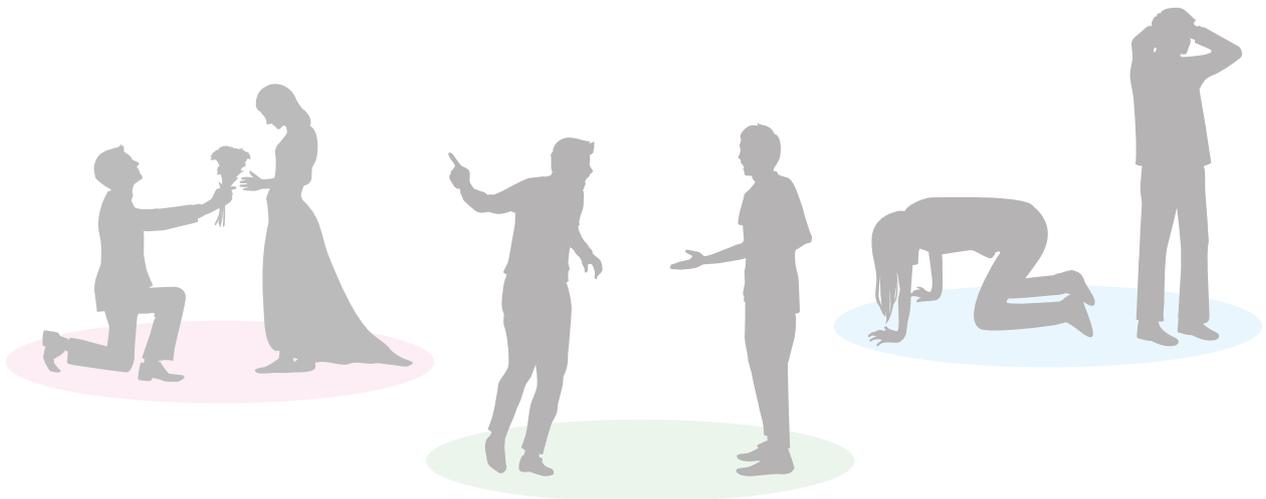
本大会で語劇祭は84回を迎えました。

※ご来場の皆様へ

本学では語劇祭風景を撮影して、各種の大学及び学生の出版物に掲載する場合がありますのでご了承ください。（尚、撮影者は大学名を明記した腕章をして撮影しております。）

目次

ご挨拶	3
タイムテーブル	5
各賞の紹介	6
インドネシア研究会	7
政経学部渡邊俊彦ゼミナール	9
中国研究会	11
関口ゼミナール／中国語会話愛好会	13
英語研究会	15
ジャズ研究会・アカペラ同好会三歌月	17



ご挨拶



拓殖大学 学長
鈴木 昭一

第84回語劇祭の開催によせて

本学恒例の「語劇祭」が「語劇祭 Classic ～百花繚乱の時代へ～」をキャッチフレーズとして開催されます。新型コロナウイルス感染症は未だ収束にいたっておりませんが、昨年度に引き続き今年度もオンライン配信形式は併用しつつも、対面で実施できることを大変喜ばしく感じています。今年度は、国際フェスティバル、紅陵祭をコロナ禍以前の完全対面形式に近い形で実施してきました。今回の語劇祭を含めて、ようやく本学三大祭典が本来の形式で再スタートしたと言って良いでしょう。

準備に携わられた皆さんの努力に敬意を表するとともに、参加団体の皆さんには練習の成果をいかに発揮して、素晴らしいパフォーマンスを観るものに届けてほしいと願っています。

本学は明治33年（1900年）に、いわゆるグローバル人材の育成を教育目標に掲げ創立され、創立当初より語学教育に力を注いできました。「語劇祭」は大正11年（1922年）に第1回が開催され、中断はあったものの今回で84回目を迎える歴史と伝統のある行事です。

異なる言語の意味内容を十分に理解するには、その歴史的・文化的・宗教的背景を理解することが必要となります。「演劇」というパフォーマンスは、歴史的・文化的・宗教的な価値観の発露であるともいえるでしょう。語学修得のアウトプットの機会として、「演劇」は最適であると言えるでしょう。グローバル人材の育成を目指す本学にとって、「語劇祭」の存在意義は大変大きいといえます。本学の特徴ある教育の1つとして、これからも一層の発展を願っています。

今回のキャッチフレーズにある「百花繚乱」が示すとおり、参加される皆さんのキラキラ光る個々の個性、その集合体としての完成されたパフォーマンスを心より期待しています。



外国語学部長
塩崎 智

2022年度語劇祭に捧ぐ

学園祭実行委員、語劇祭実行委員に、昭和、明治維新の日本を見る

社会的に見れば、昭和は大ブラック時代である。石を投げればハラスメントに当たる。家庭を顧みず、残業の嵐の毎日。しかし、その大ブラック時代に、日本は戦後の奇跡の復興を成し遂げた。

自分はたぶん、昭和の最後の一滴にあたる。今日は、この昭和を社畜ではなく、「共通の目的のもとに自ら動く」という意味で使いたい。昭和のブライト・サイド（明るい面）である。

自分は、学園祭実行委員、語劇祭実行委員の、献身的な働きぶりに、この昭和のブライト・サイドを見る。

昭和からさらに明治にさかのぼる。世界を驚かせた、明治維新とその後の日本の急速な成長は、素人集団が成し遂げた。憲法作成のヘッドだった伊藤博文は、ロースクール出身だったか？ 渋沢栄一はビジネススクール出身だったか？ 明治の立役者はアマチュア・ボランティアの集まりだった。その素人たちが、身の程を顧みず「それはおれがやる」と手を挙げ、海外を見て回り、自ら勉強してできあがったのが、明治日本だった。

自分は、学園祭実行委員、語劇祭実行委員に、この明治の「ブライト・サイド」を見る。彼らは、元々「ただの」（失礼！）学生だが、この巨大なプロジェクトを実現するにあたり、関係者や先輩等に自ら学び、自ら積極的に動き、「祭」という壮大なプロジェクトを実現させようとしている。

語劇祭のヒーローは出演者である。しかし、その晴れ舞台を黙々と準備する人も間違いなくヒーローズである。

鈴木昭一学長の言によれば、今の若者は公の場でほめられることを嫌うらしい。しかし、昭和人は、ほめる時には人前でほめないと気が済まないのである。これを昭和の「ダーク・サイド」と言うなかれ。



学生支援センター長

寺家村 博

第 84 回語劇祭によせて

第 84 回拓殖大学語劇祭の開催を心よりお慶び申し上げます。コロナウイルスによる感染が完全な収束をみないなか、今年度の語劇祭は数を制限してお客様をお迎えすると同時に WEB による配信も実施すると聞いています。4 言語 5 団体が参加し、また 2 つの音楽グループが語劇祭を盛り上げてくれます。

さて拓殖大学の語劇祭の歴史は古く、資料によると明治 35 年まで遡ります。この年台湾協会内でおこなわれた麗澤会第 1 回語学部大会がその始まりとされ、その後、語学教育の一環として、また同時に異文化理解促進の一助として大正 11 年に催された語劇祭が本格的な形でのスタートとなります。

舞台の上で何かを演じる時、毎回演じる側とそれを観る側との関係において予定調和が意味するものはなにもなく、そこには常に緊張感があるものです。この緊張感こそ演劇がもつ醍醐味の一つと言えるかもしれません。加えて母語ではない言語で演じる外国語劇にはある種の「不自由さ」がいつまわります。母語と自分の身体という慣れ親しんだ感覚を一度離れ、自分にとっては異質なものである外国語を抛り所に身体との均衡をあらたに探していかなければなりません。しかし語劇の完成に向けて日々練習を積み重ね、それぞれの言語がもつ特性と向き合っていくことで、この「不自由さ」がある瞬間自然に自分の内に取り込まれ、違和感をあまり感じなくなる時があります。その時にはじめて私たちの内に母語で演じる演劇とは全く異なった言葉と身体の新しい可能性が生まれてくるように思います。私たち観るものにとってもこのような瞬間に立ちあえることは幸せなことです。

今年度の語劇祭のキャッチフレーズは「語劇祭 Classic ～百花繚乱の時代へ～」です。日本人学生が演じる外国語劇に加え、今回は留学生による日本語劇、また私たちみんなの共通言語ともいえる音楽も舞台上がります。まさに百花繚乱！言葉のもつ可能性が学生のみなさんによって美しくそして力強く花開くことを心より願っています。

最後になりましたが、第 84 回語劇祭をお支えくださったすべての皆さまに心からの敬意を表すとともに、厚く御礼申し上げます。



大学祭実行委員会
委員長

岡本 龍太郎

委員長挨拶

色づいた木々は枯れ始め、ここ八王子国際キャンパスも師走に入り寒さもきびしくなり、本格的に冬の訪れを感じる今日この頃ではございますが、皆様方に置かれましてはいかがお過ごしでしょうか。本年度も八王子国際キャンパスにて、語劇祭を開催できることとても慶ばしい限りでございます。さて、本学では建学した当初より、国際大学となるべく世界に目を向け、語学力の向上、外国の文化の理解を深めることに力を注いで参りました。現代では更なるグローバル化を推進し、より国際色豊かな人材の育成に力を注いでおります。

1922 年から始まった語劇祭も今年で第 84 回目となります。本年度の語劇祭のキャッチフレーズは「語劇祭 Classic ～百花繚乱の時代へ～」とさせていただきます。「Classic」には伝統的という意味があり、第 83 回も続いている語劇祭をこれからも絶やさず、繋いでいこうという意味を込めております。次に「百花繚乱の時代へ」では、例年、語劇祭は学生たちが母国語とは違うもう 1 つの言語を用いて劇を行う形式でした。しかし、去年から音楽系の部会・愛好会の方々にも参加していただき、今年から本格的に、語劇と音楽の祭典という新しい語劇祭と様々な個性を感じ取っていただきたいという意味を込めさせていただきました。

今回の語劇祭を通じて、他国との文化の違いはもちろんのこと、学生たちが伝えたい想いをその表情、セリフ、動きや音楽という新しい表現から、異文化のコミュニケーションには言葉だけではなく、様々な方法があるという事を感じ取っていただき、皆様の今後の何かしらの形で影響を与えられたら幸いです。そして、新しい語劇祭を御覧いただいた方だけでなく、学生たちも心から楽しみ、素晴らしいものとなることを期待しています。

末筆ではございますが、ご来場くださいました皆様には感謝の意を表するとともに第 84 回語劇祭開催にあたりご協力くださいました先生方、並びに関係者・参加団体の皆様には御礼申し上げます。

タイムテーブル

12/2 (金)	12/3 (土)
10:00-10:30 開会式	10:00-10:04 オープニングトーク
▼	▼
10:30-10:40 オープニングトーク	10:05-11:00 中国研究会 [中国語]
▼	▼
11:15-12:10 インドネシア研究会 [インドネシア語]	11:40-12:25 関口ゼミナール／中国語会話愛好会 [中国語]
▼	▼
12:45-12:55 アカペラ同好会三歌月	13:10-13:25 アカペラ同好会三歌月
▼	▼
13:30-14:05 政経学部 渡邊俊彦ゼミナール [日本語]	13:45-14:00 英語研究会 [英語]
▼	▼
14:35-15:05 ジャズ研究会	14:35-15:15 閉会式
▼	▼
15:10-15:15 エンディングトーク	15:20-15:30 エンディングトーク

最新の情報とは異なる場合があります。詳しくは、大学祭実行委員会公式 HP または SNS の情報をご参照ください。

各賞の紹介

拓殖杯

語劇力・舞台装置・演技・作品の構成等、最も印象に残る劇をした参加団体に贈られる賞です。

優秀賞

語劇力・舞台装置・演技・作品の構成等、優秀であった参加団体に贈られる賞です。

最優秀個人演技賞

演技が最も優れていた個人に贈られる賞です。

新人賞

1年生を対象とし、今後に期待を持てる個人に贈られる賞です。

最新の情報とは異なる場合があります。詳しくは、大学祭実行委員会公式 HP または SNS の情報をご参照ください。

過去の受賞団体

	総長杯	優秀賞	準優秀賞	最優秀個人演技賞
第 81 回	中国語劇愛好会	中国研究会	インドネシア研究会	塚本真悠 (中国語劇愛好会)
	総長杯	優秀賞	最優秀個人演技賞	新人賞
第 82 回	英語研究会	インドネシア研究会	相田悠希 (英語研究会)	アムリル・マルフ (インドネシア研究会)
第 83 回	政経学部 渡邊俊彦ゼミナール	インドネシア研究会	川村佳巳 (政経学部 渡邊俊彦ゼミナール)	斎藤美空 (インドネシア研究会)

2日
(金)

インドネシア研究会

11:15-12:10

Title



Story

「むかしむかしあるところに、お爺さんとお婆さんが住んでいました。お爺さんは山は芝刈りに。お婆さんは川へ洗濯へ行きました。そんなある日、お婆さんが川で洗濯をしていると突然大きなドリアンが流れてきて、、、!!?」私たちは、日本の有名な昔話「桃太郎」をインドネシア版にアレンジしてお届けします！笑いあり、涙あり、異文化体験ありの作品でお届けします！物語の舞台は、インドネシアのジャカルタとバリ島です！バリ島の美しいジャングルに潜む動物達と日本の桃太郎の愛と友情の物語！さて、どんな結末が待ち受けているのでしょうか、、、？

Cast / Staff

名前	フリガナ	学年	学部	学科	役名
常石 彩	ツネイシアヤ	1	国際	国際	ナレーター
加藤 奏多	カトウカナタ	1	工	機械システム工	桃太郎
アーマドディアズフィタリー		1	国際	国際	ドリ太郎
田中 愛望	タナカアイミ	2	国際	国際	おばあさん メイン鬼
下平 大舞	シモヒラオオマイ	3	国際	国際	おじいさん 家来
鈴木 啓悟	スズキケイゴ	1	国際	国際	家来 與那覇
龍太郎	ヨナハリユウタロウ	1	国際	国際	家来
滝井爽太郎	タケイソウタロウ	4	政経	法律政治	メイン鬼
原 剛史	ハラツヨシ	2	政経	経済	サブ鬼
川崎 渉	カワサキワタル	1	商	経営	サブ鬼鬼
ムハマド サンスリ ラシッド		4	工	機械システム工	楽器楽器
山本 天翔	ヤマモトテンショウ	4	政経	法律政治	スタッフ
山星 亮介	ヤマホシリョウスケ	4	政経	経済	スタッフ
鎌田 沙奈	カマタサナ	2	外国語	国際日本語	スタッフ
関 雅治	セキマサハル	1	工	電子システム工	スタッフ
野 陽斗	マツノハルト	1	工	情報工	スタッフ

会長挨拶



齊藤 美空

Kenalkan, nama saya Misora !! はじめまして！インドネシア研究会の会長、国際学部3年齊藤美空です！今年の研究会は様々な学部のメンバーで構成されており、語劇祭に向けてそれぞれの個性をうまく活かしながら練習しています！またインドネシア研究会100周年の語劇祭となります！歌やお笑い、異文化体験など様々な要素を盛り込んだ今回の語劇祭。沢山の人に楽しんでいただけたら嬉しいです！

ディレクター挨拶



下平 大舞

こんにちは。ディレクターを務める国際学部国際学科3年の下平大舞です。私たちインドネシア研究会は、日本の昔話桃太郎をインドネシア風にアレンジした劇を披露します。主人公の桃太郎とバリ島のジャングルに潜む動物たちとの愛と友情の物語で、中にはインドネシアと日本の文化を比較したシーンや、伝統的な音楽も取り入れています。是非会場に足を運び、劇をお楽しみください。

Message

みなさんこんにちは！インドネシア研究会です！なんと今年は！インドネシア研究会100周年の年で記念すべき語劇祭となります！100年の歴史を感じられるパワーアップした私たちの語劇祭を皆さんに楽しんでいただけたら嬉しいです！今年は、皆さんにインドネシアと日本の文化の違いを体験していただけるようにあえて日本の昔話を題材にしました！劇中には歌シーンもあるので、ぜひ手拍子をして最後までお楽しみいただけたら嬉しいです！



2日
(金)

政経学部渡邊俊彦ゼミナール

13:30-14:05

Title



Story

とある仙女の「三聖母」が人間界の一般人「劉炳章」と恋をした。そして、ひとりの子ども「劉沈香」が産まれた。しかし、人間界の一般人と恋をするのが神界のルールでは禁じられている。そのせいで、劉沈香の母である三聖母は華山の牢獄に閉じ込められてしまった。その後、何も知らない劉沈香は父と2人で平凡な日々を過ごす。神界の報復で父は殺されてしまう。そこで劉沈香は、自分が神と人間の子であることを知る。そこから、母を救う過酷な旅へと出ていく。果たして劉沈香は救う事が出来るのか…？

Cast / Staff

名前	フリガナ	学年	学部	学科	役名
孫煦	ソク	3	政経	法律政治	キャスト
張偉佳	チョウエイカ	3	政経	経済	キャスト
グエンティタンフェン		3	政経	経済	キャスト
秋元拓実	アキモトタクミ	3	政経	経済	キャスト
小田桐佑	オダギリタスク	3	政経	法律政治	キャスト
金子愛	カネコアイ	3	政経	経済	キャスト
轟瑩	ショウエイ	3	政経	経済	スタッフ
石芩芳	セキキンホウ	3	政経	経済	スタッフ
孫聿筱	ソンイッショウ	3	政経	経済	スタッフ
鄭月	テイゲツ	3	政経	経済	スタッフ
鄭章含	テイショウガン	3	政経	経済	スタッフ
劉小森	リュウショウビョウ	3	政経	経済	スタッフ
潘寧	ハンネイ	3	政経	経済	スタッフ
李嫣	リエン	3	政経	経済	スタッフ
王紹基	オウショウキ	3	政経	経済	スタッフ
池上雄太	イケガミユウタ	3	政経	経済	スタッフ
チャンディンコイ		3	政経	経済	スタッフ
蔡環	サイケイ	3	政経	経済	スタッフ
劉禾蒙	リュウカモウ	3	政経	経済	スタッフ

会長挨拶



池上 雄太

この劇は中国の有名な神話物語『宝蓮灯』に基づき、ゼミ生みんなの力を合わせて作成しました。主人公である「劉沉香」が山を劈（開）いて、母を救うという神話がモチーフの作品です。この話は中国の人々みんなが知っているといってもいいほど有名な物語で、中国の伝統文化である“親孝行の精神”を発揚する物語と考えられ、現地では親しまれています。私たちはこの劇の精神を、見てくださる皆様に忠実に伝えるため、限られた短い時間でたくさん準備しました。是非、劇を楽しんでいただければと思います。

ディレクター挨拶



小田桐 佑

政経学部渡邊俊彦ゼミナールの小田桐佑です。私たち政経学部渡邊俊彦ゼミナールは、日本だけでなく、中国やベトナムといった様々な国籍の留学生とみんなと仲良く台湾について地域研究の視点から学んでいます。今回の語劇祭では、中国からの留学生が出してくれた中国の神話をもとにしたストーリーを作りました。ゼミ生みんなが国籍関係なく仲良く、チームワークがいいことが私たちのゼミの特徴です！ぜひご覧ください！

Message

この劇は、留学生がアイデアを出し、そして留学生が原文から日本語にストーリーを書き起こし、日本語のセリフを一生懸命考えました。その後、日本人学生が自然なセリフとして整えて、台本を一緒に完成させました。本番の劇が日本語でうまくできるか不安ですが、日本×中国×ベトナムと国籍が関係なくチームワークが取り柄のゼミです。楽しい劇ができるように頑張りますので、応援どうぞよろしくをお願いします。



3日
(土)

中国研究会

10:05-11:00

Title



Story

とある世界、とある地域に西帝国と東王国と言う国が存在した。西帝国と東王国は古来より紛争が絶えなかった。そんな中、両国の紛争に終止符を打つため、西帝国の第8皇女（黎月華）が東王国の王（三神旭）に嫁ぐことになる。しかし、婚姻の裏では西帝国の大いなる野望が渦巻いていた。東王国に嫁いだ西帝国皇女黎月華だが、王国騎士（鍊梓豪）と恋に落ちてしまう。彼女の思いは次第に王国の未来を揺るがし始めるのだった ... 王国の人々の運命やいかに！

Cast / Staff

名前	フリガナ	学年	学部	学科	役名
荆 伊诺	ケイ イダク	1	外国語	国際日本語	黎月華
水崎 嘉	ミズサキ ヒロ	4	外国語	中国語	黎明明 スタッフ
袁 冠睿	エン カンエイ	1	国際	国際	従者1
大平 ゆい	オオダイラ ユイ	2	外国語	中国語	従者2 スタッフ
孟 艺琳	モウ ゲイリン	1	外国語	スペイン	通訳者
魏 子淇	ギ シキ	2	外国語	国際日本語	鍊梓豪
千田 大暉	チダ タイキ	2	工	デザイン	三神旭
梅田 康平	ウメダ コウヘイ	4	外国語	中国語	西園寺博文 スタッフ
永山 翔太	ナガヤマ ショウタ	2	工	デザイン	貴族氷室 スタッフ
永山 翔太	ナガヤマ ショウタ	2	工	デザイン	貴族氷室 スタッフ
保坂 滉人	ホサカ ヒロト	4	外国語	中国語	貴族終 スタッフ
斉藤 翔	サイトウ カケル	3	政経	法律政治	大臣A
井原 雄希	イハラ ユウキ	2	工	デザイン	従者A スタッフ
樋口 朋妥	ヒグチ トモヤス	2	工	デザイン	従者B スタッフ
田崎 雄大	タザキ ユウタ	4	外国語	中国語	スタッフ
服部 由奈	ハットリ ユウナ	4	外国語	中国語	スタッフ
白石 彩香	シライシ アヤカ	4	国際	国際	スタッフ
澤田 聖流	サワダ キョウラ	4	外国語	中国語	スタッフ
向田 愛海	ムカイダ アミ	2	外国語	中国語	スタッフ
入山 陽菜	イリヤマ ハルナ	2	外国語	中国語	スタッフ
岡本 日菜	オカモト ヒナ	2	外国語	中国語	スタッフ

会長挨拶



向田 愛海

こんにちは。中国研究会会長の向田愛海です。今年度は中国語学科の学生が少ないことを考えて日本語と中国語の2言語を使用した劇をオリジナルで作成し、台本は前会長の田崎先輩に執筆していただきました。中国語の分からない方でも楽しんでいただける内容となっています。小道具・大道具も手作りしており、細部まで注目してお楽しみいただけますと幸いです。私たち中国研究会は、週2日学生交流会館にて活動しています。ご興味のある方はいつでもお気軽にご連絡ください。

ディレクター挨拶



田崎 雄大

皆さんこんにちは。台本を担当させて頂きました中国語学科4年の田崎と申します。今回は台本を書くにあたり、中研初の試みとして、日本語と中国語の両方を使用しました。ストーリーは中国研究会3年振りとなる完全オリジナルとなっています。中国人留学生や中国語学科の学生だけではなく、工学部学生の演技にもご期待期待ください。

Message

本日は語劇祭にお越しいただき誠にありがとうございます。さて、本題に入りますが、今回の中国研究会の劇の見どころは、王国側の人間と帝国側の人間の掛け合いにあります。よりリアリティを出す為に、本劇中では日本語と中国語の2ヶ国語を使用しており、劇を見ながら異国情緒も感じることができると思います。それでは、中国研究会の発表をどうぞお楽しみください。



3日
(土)

関口ゼミナール／中国語会話愛好会

11:40-12:25

Title



Story

中国四大奇書の第一に数えられる『紅樓夢』の改編。明代、賈氏一族は赤い大きなお屋敷で富貴繁栄の日々を送っておりました。一族の長老である賈母は、跡取り孫の賈宝玉を大層かわいがっておりました。賈母には林黛玉という外孫もおり、二人は大層仲がよく、将来を誓った仲でした。ところが、宝玉の両親が二人の結婚に反対し、隣に住む薛宝釵を宝玉には内緒で嫁に迎えることにしてしまいます。結婚式当日、元々、体の弱かった林黛玉はこれを悲観して病死。宝玉の父親の賈政は、汚職の嫌疑をかけられて捕らえられてしまい、一家は離散。紅楼（赤いお屋敷）での富貴繁栄の日々はまさしく、夢と消えたのでした。

Cast / Staff

名前	フリガナ	学年	学部	学科	役名
保坂 滉人	ホサカ ヒロト	4	外国語	中国語	役人1 スタッフ
西東 竜哉	サイトウ タツヤ	4	外国語	中国語	賈政
飯ヶ谷 萌奈	イイガタニ モナ	3	外国語	中国語	役人2
王 楠	オウ ナン	3	外国語	中国語	林黛玉
小倉 朱莉	オグラ アカリ	3	外国語	中国語	紫鵲
宗廣 愛美	ムネヒロ アミ	3	外国語	中国語	薛宝釵
山田 彩季	ヤマダ サキ	3	外国語	中国語	王夫人
古西 奈美	コニシ ナミ	3	外国語	中国語	賈母
彭 振洋	ホウ シンヨウ	1	国際	国際	賈宝玉
菊地 杏佳	キクチ キョウカ	4	外国語	中国語	スタッフ
諏訪 悠希	スワ ユウキ	4	外国語	中国語	スタッフ

会長挨拶



保坂 滉人

関口ゼミナル会長の保坂滉人です。この度は我々の劇「紅樓夢」に興味を持っていただきありがとうございます。今回の劇は関口ゼミの三年生が主体となって始め、演者のほとんどを三年生達が行っております。しかし語劇祭経験者が私と関口先生しかおらず、勝手のわからない人がほとんどでした。そんな中でも一人一人がこうした方がいいのではと主体的に取り組んでまいりました。至らないところがあるかも知れませんが暖かい目で見えていただくとありがたいです。

ディレクター挨拶



大平 ゆい

中国語会話愛好会会長で、今回のディレクターを務める大平ゆいです。この度は、私たちの劇をご覧くださいありがとうございます。今年度の語劇祭は、関口ゼミナルと中国語会話愛好会の合同での参加となりました。中国語会話愛好会のメンバーは、主役の彭振洋を除き、主に裏方として関口先生や関口ゼミの先輩方のサポートをしています。劇はもちろん、手作りの衣装や小道具、照明、音響にもこだわった劇となっております。精一杯演じますので、楽しんでいただけましたら幸いです。

Message

中国語会話愛好会の顧問で関口ゼミの指導教員の関口美幸です。『紅樓夢』は、本場中国では「紅学」という独自の学問があるほどメジャーな小説で、テーマについても様々に議論されていますが、今回は主人公二人の恋愛をテーマに脚本を書きました。紅楼（赤い立派なお屋敷）の中で優雅な生活を送る方が幸せなのか、愛する人の魂と共に旅立つ方が幸せなのか、そんなことを思いながら、一時「紅楼」の夢に浸っていただければ幸いです。



3日
(土)

英語研究会

13:45-14:00



とある未来。とある場所。おそらく、かつてアジアと呼ばれた地域の北の端っこのあたり。尤も、正確な場所は彼にもわからない。まもなく平均寿命の折り返し地点を迎えようかというその男は、家族もなく、貯金もなく、たまの休日といえば、一人部屋の中で過ごすだけ。我々から見れば、いわば負け組。人並みの幸せも掴めないような、お世辞にも幸せとはいえない男に見えるが、彼はそう思っていなかった。彼には、日々この世界を守っているという誇りと生きがいがあった。誰もが幸せなこの世界を実現しているのは私であり、それこそわが幸せなのだ。しかし、その繰り返される日常に、どこか違和感を覚える。

Cast / Staff

名 前	フリガナ	学 年	学 部	学 科
黒澤吏玖	クロサワリク	2	政経	経済
富樫力丸	トガシリキマル	2	国際	国際
田中悠慎	タナカユウマ	2	工	電子システム工
倉田颯	クラタハヤト	2	政経	経済
藤原慶宣	フジワラヨシノブ	1	商	国際ビジネス

会長挨拶



富樫 力丸

こんにちは！英語研究会次期会長の富樫です。私たち英語研究会は、部員こそ少ないものの、その分まとまりがあり、いつも団結して活動しています。基本的にオンラインで英会話をしたりなどの活動をしてはいますが、フィールドワークに出かけたり、外国人観光客向けのボランティアをしたりもします。英語に興味のある方もそうでない方も、ぜひご参加ください！

ディレクター挨拶



黒澤 史玖

この度、ディレクター及び脚本執筆を担当させていただいた黒澤です。今回は、これまで私の頭の中におぼろげながら存在していた構想を、このような形で作品に昇華させる機会を頂き、心より感謝申し上げます。今回の作品では、私がこれまで様々な名作と呼ばれる作品に触れる度、練り込まれてきた疑問や思慮を元にした、オリジナルの脚本を書かせていただきました。随所にその影響やオマージュを散りばめさせて頂きましたので、よろしければその点からもお楽しみ頂ければと思います。

Message

作品を通してのテーマは「人間らしさ」です。我々人類は、これまで血みどろとした歴史を積み重ねながら、常に人間としての幸福を求めてきました。人として、人らしく生きるため、時に王を処刑し、他国と争い、ある時には自国内での争いが起きたこともありました。そうして我々は現在、過去の偉大なる人々の屍の上、権利という名の人間らしく幸福に生きる手段を手に入れたのです。そんな我々は現在でも、より幸せに生きようと努力を積み重ねています。そんな中で、「人間らしさとはなにか」「人間とはなにかが問われている」と感じています。本作は、そんな私個人の思いを、一つの作品として形にさせていただいたものです。従って、お楽しみいただけるものか不安ですが、どうぞ暖かく見守っていただければと思います。



2日(金) 14:35-15:05

◆ ジャズ研究会 ◆

ジャズ研究会は、ドラムやピアノ、トランペット、サックスなどを用いてジャズを演奏しています。語劇祭では、今までの学祭で演奏してきた曲に、新曲を加えて演奏します。普段から聴いている方も聴かない方も、劇の間の少しだけ、ジャズをお楽しみください。



2日(金) 12:45-12:55

3日(土) 13:10-13:25

◆ アカペラ同好会三歌月 ◆

私たち三歌月は声だけで曲を創りあげて行くアカペラで、年に数回あるライブで皆さんに私たちと一緒に「楽しい!」と伝わるように全員が一丸となって全力で練習し、歌います! 皆さんに三歌月の暖かい雰囲気、そしてアカペラの楽しさが伝わりますように!



第 84 回 拓殖大学語劇祭

主催	大学祭実行委員会	発行	拓殖大学大学祭実行委員会
協力	総務局連合会		
	文化局連合会		〈八王子国際キャンパス〉
	体育局連合会		〒 193-0985 東京都八王子市館町 815-1
	学生健康保険委員会		TEL : 042-665-1596
	愛好会		〈文京キャンパス〉
	大学祭実行委員会		〒 112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14
	拓殖大学各部署		TEL : 070-4020-1975
発行責任者	岡本龍太郎		
編集責任者	藤井晃輔	編集・印刷	クラフト・コア株式会社
表紙デザイン	経済学科 2 年 山下美洸		
	所属：大学祭実行委員会		



拓殖大学
Takushoku University